

秋 平成13年度(2001)秋季地区予選

M(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	永谷	浅野	港南台	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		12-1	10-12	11-1	2	19	2
永谷	1-12		7-17	0-14	0	-35	4
浅野	12-10	17-7		11-0	3	23	1
港南台	1-11	14-0	0-11		1	-7	3

平成13年度(2001)秋季県大会

【2回戦】9月8日 南高

希望ヶ丘 0 0 0 1 0 0 0 0 0 | 1

有馬 0 0 0 0 1 0 0 0 0 | 1x | 2x

(延長11回)

(希) 鈴木-江藤

(有) 望月、江藤-三田

▽二塁打 萩原、江藤(希) 望月、富田(有)

春 平成14年度(2002)春季地区予選

A(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	上郷	磯子	神大附	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		6-5	14-13	1-3	2	0	2
上郷	5-6		7-5	15-4	2	12	1
磯子	13-14	5-7		5-1	1	4	3
神奈川大附	3-1	4-15	1-5		1	-16	4

平成14年度(2002)春季県大会

【2回戦】4月6日 光明相模原高

光明相模原 1 0 6 0 0 5 | 12

希望ヶ丘 0 1 0 1 0 0 | 2

(6回コールド)

(光) 佐野-小野

(希) 鈴木-江藤

▽二塁打 西沢、塩田、吉原、古谷(光)

第84回全国高校野球選手権神奈川大会

【2回戦】7月14日 大和引地台球場

試合時間 2時間24分

有馬 0 0 0 1 1 1 0 1 0 | 4

希望ヶ丘 0 1 0 0 0 0 0 0 0 | 1

(有) 望月、江藤-三田

(希) 鈴木、斎藤-原島

▽三塁打 三田(有)

▽二塁打 大沢、勝呂、富田

▽犠打 有7(三田、勝呂、望月3、大沢、古厩) 希1(清水貴)

▽盗塁 有0 希1(原島)

▽失策 有2(勝呂、古厩) 希2(原島、清水多)

▽ボーク 斎藤(希)

100周年の節目の世代

K55 主将 古川竜三

希望ヶ丘高校硬式野球部創部120周年、誠におめでとうございます。

私が3年生の時に100周年の代ということで、OB会主催の座談会にK55の7名の選手と顧問の大久保先生、監督の吉野先生、OBコーチの福島さんと参加したのがとても懐かしく思い出されます。18歳だった当時から20年の年月が流れ、私は今、県立大和高校野球部で監督をやらせてもらっています。

私が現在の仕事に就いている原点は、K55の仲間や指導者の方々との出会いや、悔しい高校野球人生であった、高校時代にあります。

高2の夏の3回戦、保土ヶ谷球場でのテレビ中継がありました。公立の強豪、大清水高校との対戦でした。先制したものの、後半は地力の差を見せつけられて逆転、終わってみれば2-8の完敗でした。ただ、この試合ではチーム無失策、ヒット10本と、このチームでベストに近いゲームができたと思います。12人で始まったK54のチームで、勝てなくても必死にやってきた最後に、テレビ中継でチームのベストゲームができたことが悔しくも多少の充実感もありました。自分たちの代では、私を含め怪我人が多く、ベストのコンディション、メンバーで試合に臨めることが少なかったです。指導者になって思うことですが、怪我人が多い、体調不良等でメンバーがそろわないチームは、チーム作りがとても難しくなります。

目標をベスト16に設定していましたが、春秋の県大会ではどちらも初戦敗退でした。春以降は苦しい時期がありましたが、5月のGW以降、練習試合では1試合も負けずに夏の大会を迎えることができました。チーム全体としてもおごることなく、いい緊張感で日々過ごしていました。しかし、大会直前に中軸2人の3年生が試合に出られないくらいの怪我をしてしまい、大会で打順やポジションの変更を大きく変えざるを得ない形になりました。初戦の対戦相手は秋の県大会、延長10回1-2で敗れている有馬高校。秋の大会のリベンジと、「あいつら二人が治るまで勝ち続けるぞ」と燃えていましたが、先制したものの、その後が続かず相手にはコツコツと加点され1-4で敗れました。特に印象に残っているのは、9回の攻撃で、怪我でベンチスタートだった萩原、江藤が代打で出場して連打で繋ぎ、二死満塁まで相手にプレッシャーをかけた場面です。走れる状態ではなかった彼らのあのヒットは、まさに執念でした。本人たちが一番悔しい思いをしていたと思います。もし二人が万全であったら…自分たちに何かできなかったか…大会後、卒業してからも思うことが何度もありました。悔しすぎる最後の夏でした。

私の野球選手としての人生は高校時代で終わってしまいましたが、高校時代の少しの達成感と多くの後悔、そして恩師や仲間たちとの出会いが私を高校の教員という仕事に導いてくれました。希望ヶ丘高校以来の県立高校から甲子園出場という最大の目標を、いつか必ず達成させたいと思います。